

「はばたく次世代」応援寄付プログラム
-基礎研究力の向上を目指して-
応募要項

1. 趣旨

第一三共は、当社の最大の強みであるサイエンス＆テクノロジーを活かし、新しい治療ソリューションと最適なモダリティを提供することで、『世界中の人々の健康で豊かな生活に貢献する』存在でありたいと考えています。

私たちが目指す社会においては、多様な技術革新がもたらす新たなイノベーションによって、様々な社会的課題の解決を図り、豊かで安全・安心な社会や、一人ひとりの多様な well-being にチャレンジし実現できる社会の実現が期待されています。イノベーションの創出には、数学、物理学、化学、生物学、医学、薬学、社会学など広範囲な分野での基礎研究の進歩・発展が不可欠です。しかしながら、現在日本では基礎研究力の低下が危惧され*、また、研究者の研究時間の減少や、大学等における研究環境の維持・更新の難しさなどもあり、基礎研究の持続的発展は容易ではなく、次世代を担う基礎研究者を取り巻く環境も厳しい状況が続いています。

このような状況の中、第一三共では、寄付プログラムを通じて社会・経済の変革をもたらすイノベーションの源泉となる「基礎研究」の発展を期待し、日本の基礎研究を支え、世界へはばたく次世代研究者を応援したいと考え、大学等の研究マネジメント組織を通して次世代を担う研究者を支援する『「はばたく次世代」応援寄付プログラム』を 2023 年度に開始しました。

4 年目を迎える今回も、ライフサイエンスに限らず、広範なサイエンスに関する大学等での基礎研究者の研究力の育成・向上を、それを支える大学等のマネジメント体制の強化・整備も含めて、引き続き応援してまいります。基礎研究力の低下や次世代を担う基礎研究者がさらされている問題を各大学・機構ならではの視点でとらえ直し、それぞれの特性や課題に即した目標設定に基づく、10年先、20年先、100年先の『世界中の人々の健康で豊かな生活』の実現に向けたイノベーションを見据えた、意欲的・挑戦的な独自性の高い提案が寄せられることを期待しています。

* 文部科学省 科学技術・学術政策研究所による Top10%補正論文数ランキング
第4位(2001-2003)→第13位(2021-2023)

2. 使途

寄付金は、以下の用途に充てることができます。

- (a) 学内選考等を経た次世代を担う基礎研究者・チームへ直接分配する研究費等
- (b) その他、学内の組織的な基礎研究力向上のための取り組みに係る経費

(研究者選定に係る URA や産学連携部門の経費等、本プログラムの学内運用に必要な経費、学内の課題に応じた基礎研究力強化へ向けた取り組みのための経費等)

※ 本プログラムで提供する資金の活用に関わる直接的な経費にのみ使用してください。なお、研究者

の生活支援、各大学・機構の施設設備費への充当は不可とします。

※「(a)学内選考等を経た次世代を担う基礎研究者・チームへ直接分配する研究費等」は、申請総額の60%以上を目安として充当してください。

3. 「はばたく次世代」応援寄付プログラムの応募について

- (1) 幅広い分野の基礎研究を行っている次世代を担う研究者*（人文社会科学系も含めてライフサイエンスに限らない）に対して、研究費を含めた支援を検討している大学・機構の研究マネジメント組織(URA や産学連携部門等)が大学・機構単位で応募
- (2) 第一三共の社外委員で構成された審査委員会の審査により寄付先大学・機構を採択
- (3) 寄付先大学・機構の研究マネジメント組織(URA や産学連携部門等)が、学内での募集・審査等を通じて次世代を担う研究者の選定を行い寄付金配分
- (4) 寄付金利用終了まで、12. 報告に記載の内容について、研究マネジメント組織(URA や産学連携部門等)から第一三共へ報告

* いずれかの研究分野で次世代の基礎研究をけん引するポテンシャルを持つと、自学内で期待される研究者

4. 応募資格

研究推進支援のための外部資金活用の学部・組織横断的な検討・判断を行うことができる研究マネジメント組織(URA や産学連携部門等)の機能を有している大学・機構

※「大学・機構」：国公立大学(短期大学や大学院大学を含む)および大学共同利用機関法人

【応募に関する注意事項】

- 本プログラムへの応募は、大学については1大学当たり1件、大学共同利用機関法人については法人を構成する研究機構毎の応募が可能です。1大学・機構から複数のご応募があった場合は採択を見送る場合がございます。
- 幅広く研究者を支援する趣旨から、2024年度・2025年度に連続で採択を受けた大学・機構は、2026年度は応募対象外とします。
- 過去採択大学・機構(2023・2024・2025年度のいずれかで採択を受けた大学・機構)が応募する場合は、応募申請書において「A:いずれかの過去採択内容と同様の取り組みであり、それを基盤にその充実・補完的展開などの工夫を取り入れる場合」または「B:過去採択内容とは異なる取り組みの場合」のいずれかを選択してください。
合わせて、過去の寄付金活用に関する自己評価を応募申請書に記載してください。

5. 申請者

各大学・機構の研究戦略担当の理事・副学長等または研究マネジメント組織(URA や産学連携部門等)の組織長等

6. 申請方法

申請は当社コーポレートサイト内「はばたく次世代」応援寄付プログラム専用ページ記載

の応募方法に従い、応募申請書をメールにてご送付ください。

7. 応募期間

2026年9月1日(火)～2026年10月1日(木) 13:00(厳守)

8. 寄付内容

(1) 寄付金額：1 大学・機構あたり上限2,000万円

(2) 寄付金活用期間：寄付金振り込み後 ～ 2029年3月31日(土)

(3) 寄付件数：15大学・機構程度

※うち、2025 年度に採択された大学・機構への連続寄付は 5 件を上限とします。

9. 審査方法

提出された資料をもとに社外委員で構成される審査委員会で審査のうえ、決定します。

審査においては、「審査項目および審査基準」の記載に基づき審査を行います。

※2026年度から、内容が更新された審査項目がありますのでご注意ください。

10. 審査結果

採否結果は、電子メールにてご応募いただいたすべての大学・機構を対象に、
2027 年1月中旬を目途に通知します。

11. 支払先・支払手順

2027 年1月以降、手続きが終了し次第、指定された銀行口座に振り込みます。なお、寄付の支払い金額は申請金額の通りとはならない場合があります。

12. 報告

(1) 学内選考通過者、配分額等に関する報告：第一三共が、寄付応募申請時の計画に対する配分結果を確認するため、採択された大学・機構のうち、いくつかはプログラムの進捗状況に関してヒアリングを実施します。

(2) 報告：寄付金利用終了までの年度末に大学・機構の単位で簡単な報告書* の提出をお願いします。

* 学内選考通過者の氏名・所属・研究タイトル・研究成果(学会発表数、論文発表数)等の内秘密情報を含まない範囲の情報)、その他寄付金活用の進捗・成果に関する状況、学外への情報発信の内容、等の記載を、規定の様式に基づき報告。

13. 情報公開

本プログラムにて採択された大学・機構は、当プログラムへの応募申請を以って、情報公開に関する以下内容に同意いただいたものと致します。同意いただけない場合はご応募いただけませんので、予めご了承ください。

- (1) 採択された大学・機構は、第一三共コーポレートウェブサイト在大学名・機構名を公表します。
- (2) 日本製薬工業協会が策定する「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に基づき、弊社の情報公開方針として「医療機関等との関係の透明性に関する基本方針」を定めております。当該方針に基づき、寄付のお支払い先および寄付金額については、弊社コーポレートウェブサイトにおいて、当該年度決算発表後に公表します。

14. その他

- (1) 応募申請書類は採否に関わらず一切返却しません。
また、審査結果に対する個別のご質問へはお答えできません。
- (2) 申請大学・機構において、法令違反もしくはそのおそれがある、または社会的信用を大きく低下させる行為が生じた場合は、本寄付の対象外となる場合があります。
また、寄付対象決定後においても、当該事実が判明した場合は、寄付金の全部または一部の返還をお願いすることがあります。
- (3) 問い合わせ先：「はばたく次世代応援寄付プログラム」事務局
当社コーポレートサイトの本プログラム専用ページ内「お問い合わせ」フォームより、お問い合わせください。